

# 目 次

提言要旨	1
はじめに	2
第1章 コミュニティバスの現状	
1 全国的なコミュニティバスの状況	2
2 成功したコミュニティバスの事例	2
3 失敗したケースの共通点	3
第2章 具体的な事例の研究	
1 メンバー所属自治体のコミュニティバスの状況比較	3
2 茨城県土浦市の現状	4
3 新治バスの状況分析と課題	5
第3章 政策提言	
提言1 シンプルな運行内容	
1 シンプルなルート設定	8
2 シンプルなダイヤ設定	8
3 シンプルな運賃設定	8
提言2 自転車との連携	
1 市民に対するサイクルアンドライドの協力依頼	9
2 バス停付近での駐輪場の整備	10
3 サイクルライドバスの運行	10
提言3 高齢者などへの対応	
1 地域の助け合いによるバス停への送迎	10
2 交通安全施策との連携	11
提言4 ニューユーザーの創出	
1 観光目的での運行	12
2 学校教育や生涯学習とのコラボレーション	12
提言5 バスへの付加価値の付与	
1 日常生活の支援を目的とした付加価値の付与 ～快適空間バス～	13
2 安全安心の確保を目的とした付加価値の付与 ～地域密着型バス～	13
まとめ 持続可能なコミュニティバスへ	
1 評価の実施	13
2 本提言を全国各地で活用しよう！	14
おわりに	14



兵庫県相生市  
平野 慎司

富山県高岡市  
崎 安宏

指導教官  
松元部長教授

千葉県習志野市  
川窪 一就

愛知県尾張旭市  
山下 昭彦

茨城県土浦市  
山口 正通

# 提言要旨

**公共交通の状況**

- ・モータリゼーションの発展
- ・環境への配慮
- ・高齢者の外出支援
- ・路線バスの廃止・減便
- ・交通弱者対策
- ・まちの活性化 etc

## 全国各地でのコミュニティバスの運行

低い利用率

多額の税金投入

**課題（モデル事例：茨城県土浦市新治バス）**

日常生活における自家用車への依存	将来需要・潜在需要と供給内容との乖離	運行ルートに対する要望と実際利用との乖離	利便性の低い運行ダイヤ	採算性重視の運賃設定	利用につながる魅力不足
------------------	--------------------	----------------------	-------------	------------	-------------

**発想転換の必要**

- ▽「バス単独の採算性」の視点から「地域社会全体へのプラス効果」の視点への転換
- ▽「行政主体による運行」から「地域の積極的な関与による運行」への転換

**コミュニティバスの市民満足度を向上**

提言1 シンプルな運行内容

提言2 自転車との連携

提言3 高齢者などへの対応

**提言5 バスへの付加価値の付与**

提言4 ニューユーザーの創出